

Topic

学長杯
「追大をプレゼンしよう！」
グランプリ開催!

創立50周年記念事業の二環として、追大をもっと元気に、魅力的にして盛り上げていく企画を学生から募り、その実現を応援する学長杯「追大をプレゼンしよう！」グランプリ。自分自身で大学を盛り上げる体験をしてみよう！が開催された。26件のグループがエントリーし、書類審査後にプレゼンテーション審査を実施。最終的に9件の企画を採択



キャンパスレポート ▶ <http://www.act.otemon.ac.jp/>

した。
8月20日(水)の交付式では、各グループの代表者が企画実現に向け、ひきしまった表情で学長から採択通知書を受け取った。現在9件の企画はそれぞれ進行中であり、今後も大学全体で継続的に支援していく。来年1月〜2月に予定している成果報告会では、プレゼンテーションの後、グランプリを決定する。
各企画の進行状況は大学HP内キャンパスレポートにて随時更新していく。

本学チアリーディング部が
世界大会に出場決定

8月23日(土)〜24日(日)に開催された「スクールアンドカレッジコンベンション 2014」の大学編成 Show Cheer 部門において、本学チアリーディング部(SOLDIERS)が準優勝した。この結果、2015年1月にアメリカ・カンロリダで開催される「World University Cheerleading Championship(世界大学チアリーディング選手権大会)への出場が決定。9月10日(水)に川原理事長、坂井学長に結果報告を行った。



世界大学チアリーディング選手権大会への出場が決定。9月10日(水)に川原理事長、坂井学長に結果報告を行った。

Sports

女子ラグビー
大学全国大会開催

女子7人制ラグビーでは初めてとなる全国大会が2014年11月15日(土)と16日(日)に、本学第一グラウンドで開催される。本学女子ラグビー部、各大学、地域連合チームなどが参加する本大会では、2016年リオデジャネイロオリンピックから



ら正式種目となる7人制ラグビーに向け、女子ラグビーの強豪チームが競い合う。4月から新たに11名が加入し、新しいユニフォームをまとった追手門セブンスの大舞台をホームで間近に応援しよう。
**本学女子ラグビー部員が
世界学生選手権
ブラジル大会に出場**
本学1年生の中、美咲さん(国際教養学部 英語コミュニケーション学科)が女子ラグビーの「第6回 世界学生選手権 女子セブンス学生日本代表」に選出された。8月8日(金)〜10日(日)にブラジルにて行われた当大会で、中さんは第2日目の対ブラジル戦とモロッコ戦に出場した。試合結果等詳細は「7人制ラグビー公式サイト」にて確認できる。

Event

2014年度
キャンドルナイト
プロジェクト始動

今年5回目の開催となる追手門学院大学のキャンドルナイトは本学学生と職員の協働プロジェクト。当日に使用されるキャンドルの数は3000個にも及ぶ。
そんなキャンドルナイトの今年のテーマは「We are...」。自分にとって大切なものは何か、学生や職員が真剣に考え、それぞれの大切なものを集めたら素晴らしいものができるとは、そんな想いが込められている。
当日にはキャンドルを用いたオプジェも展示される。開催日は12月10日(水)。プロダグやHPも開設しており、キャンドルナイトのスタッフの活動やイベントの詳細、去年の様子などが閲覧できる。
学生スタッフブログ ▶ http://www.act.otemon.ac.jp/user_options/100198



Topic

笑いで学びを活性化!
ロザン、本学客員教授に就任

9月14日(日)、お笑いコンビ「ロザン」の菅広文氏、宇治原史規氏が本学客員教授に就任し、記者発表を行った。就任にあたり、宇治原氏は「学園祭に呼ばれることはありますが、授業をして欲しいと頼まれたのは初めてなので嬉しいですね」。菅氏は「テーマが、コミュニケーション」ということなので、質疑応答の形式も取り入れようと思っております」と抱負を語った。
また、同日に開催されていたオープンキャンパスでは、「ミニ講義」を敢行。漫才さながらのトークで満員の教室を沸かせた。尚、両教授は今年度中に、特別講義として、複数回教壇に立つ予定となっている。



9月14日(日)、お笑いコンビ「ロザン」の菅広文氏、宇治原史規氏が本学客員教授に就任し、記者発表を行った。

「為せば成る」の感動

学生部長 辰本頼弘
(社会学部教授)

先般6月26日に本学で、シドニーパラリンピック車椅子バスケットボール日本代表の主将を務めた根本 慎志氏の講演会が盛況に開催されました。タイトルは「人が支え合うということ」と「障害者スポーツの経験から」というもので、「自身の交通事故からの立ち直りのきっかけである車椅子バスケットボールとの出会い、また、その取り組み、パラリンピックへの目標、出場等、苦難の道程を身体障がい者と微塵も感じさせることなく、明るくかつ面白くお話しをいただきました。さらに、車椅子バスケットボールのみならず、多くのパラリンピック種目も美しい映像を通して紹介をしていただきました。

身体への異変が起き様々な手を尽くした結果、身体障がい者と自覚した時の心(気持ち)の挫折は計り知れないものがあると思えますが、人間はどんな状況でも前に進むことを模索する動物であることを考えさせられます。もともと、身体に障がいを負った時に、医師等の指示・指導を受け機能回復を目指すリハビリテーションの領域であった運動が、人間の知恵と工夫によりスポーツに発展をしていく様子は、例えば車椅子バスケットボールでは、「身体の不自由な人のバスケットボール」

では、「車椅子を使用したバスケットボール」との考えを生み、さらに使用される車椅子も「足の不自由な人の道具」ではなく「スポーツ器具のひとつ」と、より前向きな考えで発展をさせています。「障がいがあるから無理だ」と「障がいがあるから低レベルだ」等の考えは、スポーツ文化を荒廃させかねません。いや、それ以前にスポーツに打ち込んでいる者にとっては失礼な言いぐさにしか聞こえません。

身体障がい者のスポーツを直接見る機会は少ないかも知れませんが、テレビ等の映像を見た時に、「え、こんなことが出来るの!!」や「すごいなあ!!」と思われる人は多いと思います。限界は人が決めるものでなく自分が判断するもので、より高みを目指して取り組む姿勢が「為せば成る」の感動につながるものだと思います。

どん底の気持ちから徐々に立ち直り社会に歩みだしたり、またスポーツに打ち込んだりと日常生活に適應するまでには多くの時間と人々の協力や理解がなければ到達することができません。みんなを思いやる気持ち。これは我々が生きていくためには非常に大切なことだと思います。

学生団体 優秀実績一覧 [3月〜8月]

団体名	開催時期	大会名等	実績
漕艇部	5月3日〜6日	第67回 朝日レガッタ	一般女子シングルスカル 準決勝進出
	6月7日〜8日	関西選手権競漕大会	男子シングルスカル、女子シングルスカル、男子ダブルスカル 準決勝進出
	6月22日	第69回 国体大阪府予選	男子シングルスカル 第3位
チアリーディング部	8月16日	Challenge Competition 2014 West	78.00点
	8月23日	School & College Competition 2014	第2位 (81.65点)
ハンドボール部	4月5日〜5月18日	関西学生ハンドボール 春季リーグ戦	3部 第4位
バレーボール部	4月12日〜5月24日	関西大学バレーボール連盟 春季リーグ戦	男子 5部 第2位 (4部昇格) 女子 6部 第3位
陸上競技部	7月12日〜13日	滋賀県 陸上競技選手権大会	男子共通800m 第2位 男子共通三段跳 第4位
文化会団体	5月18日	キャンパスフーテナニー コンサートオーデション	第1位・2位・4位・5位・6位
	8月11日	第53回 大阪府吹奏楽コンクール	銅賞

Club & Circle

BOOK INTRODUCTION
[五十音順]



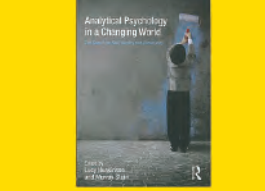
On inverse scattering problem for the Schrödinger equation with repulsive potentials
※国際誌「Journal of Mathematical Physics 55」に掲載されたもの
石田敦英(経済学部) 論文(単著)
2014年 / the AIP Publishing



英語学習者はe-learningをどう使っているのか
―自律学習におけるメタ認知ストラテジー能力の養成に向けて―
佐藤恭子(国際教養学部) 共著
2014年2月 / 漢文社



5%・8%取引が混在する年度の消費税申告書作成事例集
田淵正信(経営学部) 編著
ベンチャービジネス研究所長 編著
2014年5月 / 清文社



Analytical Psychology in a Changing World-The Search for Self, Identity and Community
中村このゆ(心理学部) 共著
2014年8月 / Routledge



まっ、いっか! 摂食障害
―当事者のまなざしから―
中村このゆ(心理学部) 編著
2014年4月 / 晃洋書房